

法月惣次郎 没後 30 年 特別イベント

天文科学講演会

世界的望遠鏡製作者

法月惣次郎 没後30年 × すばる望遠鏡25周年記念事業



私たちは宇宙を どう 理解してきたか

— すばる望遠鏡で巡る宇宙観の進化と天文学の最前線 —

参加
無料

事前
申込

2025 年

3 月 1 日 (土) 16:30 ~ 18:00

(開場 16:15)

※途中入場はできません

会場 ディスカバリーパーク焼津 天文科学館 定員 165 人 (申込先着順)

主な対象 中学生以上 ※小学生未満のお子さまはご入場いただけません。

申込方法 2025 年 2 月 4 日 0 13:00 よりフォームにて受付開始

※晴天時には講演会終了後、参加者を対象に特別観望会を実施します。



元 国立天文台長

はやし まさひろ

講師

林 正彦 先生

国立天文台



申込フォームはコチラ

プラネタリウム特別投影

観覧
有料

当日
先着順

企画展示

参加
無料



法月しい



アレジー



法月じいとアレジーが電波望遠鏡を紹介する、当館オリジナルプラネタリウム番組です。
前半には生解説で「今夜の星空」を紹介します。

3 月 1 日 (土) 14:15

定員 165 人 (当日先着順)

法月惣次郎
望遠鏡製作の先駆者

2月15日(土) ~ 8月24日(日)

3F 展示ロビー

ディスカバリーパーク焼津 天文科学館

私たちは宇宙を どう 理解してきたか

— すばる望遠鏡で巡る宇宙観の進化と天文学の最前線 —

すばる望遠鏡 25 周年を記念し、建設や運営に深く携わった研究者ならではの視点でその歩みを振り返ります。また、すばる望遠鏡で撮影した壮大で美しい画像を交えながら、ガリレオからビッグバン理論、そしてダークマターやダークエネルギーに至るまで、人類が抱いた宇宙観の進化を辿るとともに、現代天文学の最前線を紹介します。さらに、故法月惣次郎氏が架台を製作した 6m ミリ波電波望遠鏡との思い出にも触れます。

のりづき そうじろう
法月 惣次郎 望遠鏡製作者
(1912~1995)

焼津市出身。日本で初めて赤道儀式パラボラ電波望遠鏡を製作した技師。卓越した技術で、海外からの評価も高く、当時は「日本には望遠鏡製作の秘密工場がある」と言われた。当館の望遠鏡が最後に製作した望遠鏡。



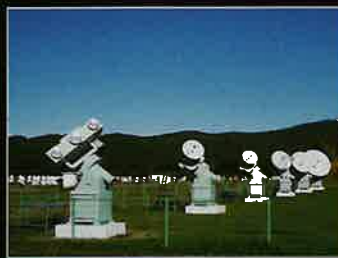
法月惣次郎氏の製作したほとんどの電波望遠鏡は、その役目を終えたが、国立天文台野辺山にある「太陽電波強度偏波計」など、今でも現役のものも残っている。



法月鉄工所工場内



法月さんと製作中の
当館大型望遠鏡



野辺山
太陽電波強度偏波計



6m ミリ波電波望遠鏡

はやし まさひこ
林 正彦 元国立天文台長
元同天文台ハワイ観測所長

1959 年生まれ。岐阜県出身。日本学術振興会ボン研究連絡センター長。東京大学大学院理学研究科天文学専攻博士課程修了。理学博士。

専門は電波天文学、赤外線天文学。1994 年より国立天文台勤務。2006 年より 2010 年まで同天文台ハワイ観測所長、その後、東京大学大学院教授を経て、2012 年より 2018 年まで国立天文台長。2018 年より現職。趣味は料理、お酒（ワイン）、読書。

すばる望遠鏡の建設や運営に携わり、所長としてすばる望遠鏡の様々な成果の実現に大きく寄与した。

法月惣次郎氏が架台の製作をした 6m ミリ波電波望遠鏡を使用して修士論文を書いた最後の学生。また同望遠鏡で 115GHz の CO 輝線を観測し論文を書いた最初で最後の研究者。

